

令和3年度 測量士試験 問題と解答 午前 No28 (応用測量)

<R02-No28 : 応用測量 (河川測量) : 問題>

次の a～d の文は、公共測量における河川測量について述べたものである。明らかに間違っているものだけの組合せはどれか。次の中から選べ。

- a. 新しい橋梁ができたため、左右両岸の橋台に1点ずつ水準基標を2級水準測量により新設する。その際の観測路線は、1級水準点から出発し、水準基標に取り付けた後、別の1級水準点に結合するよう計画した。
- b. 水準基標の標高を定める測量機器として、2級レベル及び2級標尺を使用した。
- c. 定期縦断測量を実施していたが、急傾斜地があったため、4級水準測量に代えて間接水準測量により実施し、簡易水準測量の閉合差により許容範囲内であることを確認した。
- d. 平地を流れる河川で定期横断測量を実施し、距離標から水際杭までの距離が  $L$  (m) の左岸について、距離及び標高の測定値と点検測量値との比較を行った。このとき距離の較差の許容範囲は  $L / 300$  とすることが標準である。

- 1. a, b
- 2. a, c
- 3. b, c
- 4. b, d
- 5. c, d